平成 21 年度 スポーツ医科学シンポジウム実施要項

１．実施目的　ジュニア期におけるトレーニングのあり方については、発育発達に合わせた指導・育成が必要であると言われている。今回、神経－筋の協応能力の向上を促すとされるコオーディネーショントレーニングや新たなスピードトレーニングなどの実践研究が数多くなされている旧東独から指導者を招聘し、その実態に触れることにより、実際の指導への手掛かりとするもの。

２．主　　催　富山市、富山市教育委員会、財団法人富山市体育協会

３．共　　催　富山市中学校体育連盟、富山市小学校スポーツ推進連盟、富山市スポーツ少年団

４．日　　程　平成 21 年 12 月 5 日（土）9:00～17:00

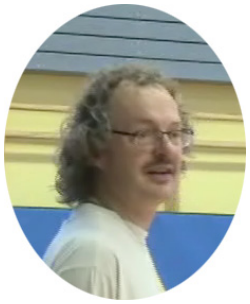
５．場　　所　富山市総合体育館研修室及びサブアリーナ

６．対 象 者　ジュニア指導者先着 80 名

７．参 加 費　無料

８．テ ー マ　スピード＆コオーディネーション－ジュニア期における科学的サポートの実際－

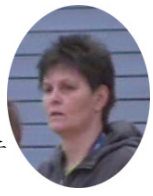
９．講　　師



ゲラルド・フォス氏

1978－82　ライプチヒ体育大学(DHfK)専攻；陸上競技
1982－85　同大学科学研究生(研究領域；スピード/瞬発筋力)＊1986 年；博士号取得
1985－91　同大学科学研究助手(陸上競技研究室)＊1990 年；教授資格学位(habil)取得
1991－現在　私立教育研究所 "ＵＮＩＶＥＲＳＵＭ" 理事長
同研究所内のトレーニング科学・パフォーマンス診断研究室にて、プロ自転車選手(特にツールドフランス)や各スポーツクラブの競技選手を科学サポート(特にスピード)。
陸上競技やゲーム系種目(ハンドボールほか)を中心に、スピードをテーマとする指導活動や、ドイツ陸連主催コーチ養成/コーチ研修での講師活動。
スピードに関連するトレーニング器具やトレーニング診断器具の研究開発。
数多くの執筆作業(そのうち単行本;『スピードトレーニングの新たな方法』＝1992 年、『スピードトレーニングへの挑戦』＝2007 年)。

［補助講師］　イネス・フィーヴェク氏
1987－91　ライプチヒ体育大学(DHfK)
1991－現在
ザクセン州陸上 Jr 強化指定選手担当コーチ
アイレンブルク陸上競技クラブヘッドコーチ
（“タレント強化センター”指定クラブ）



［補助講師兼通訳］　高橋日出二氏
1974－79　東ドイツ留学
1980－90　日本 DDR 友好団体職員
1991－現在
スポーツコーディネーター
ライプチヒスポーツ科学交流協会事務局長

10．日　　程

8:30～ 9:00	受　　付	
9:00～ 9:20	開会の挨拶	富山市長
	歓迎の言葉	富山市体育協会会長
9:20～12:00	講　　演	会場：研修室（途中休憩を含む）
12:00～13:30	昼　　食	各自昼食
13:30～16:50	実 技 指 導	会場：サブアリーナ（途中休憩を含む）
16:50～17:00	閉会の言葉	富山市体育協会

11．告知方法　広報とやま 10 月 20 日号掲載、富山市体育協会ホームページ掲載、関係団体案内

12．申込方法　下記まで電話にてお申し込みください。

13．お問合せ　財団法人富山市体育協会（TEL:076-432-1117、FAX:076-433-7474）